abira

2026
no.245
あびら



毎年
10月27日～11月９日は
「読書週間」

「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」
という決意のもと開催され
今年で80回目の開催となります

今年の標語は
「静かだけど、冒険中。」

ページをめくるたび
知らない世界や
誰かの想いに出会う

皆さんもぜひ
「静かな冒険」をしてみませんか

追分公民館図書室

火曜日～日曜日
9時～18時

【コレ推し帯】

追分公民館図書室では、読んで感銘を受けた本や面白かった本など「他の方にもおすすめしたい」という本にオリジナルの帯をつけることができます。すでに帯がついている本には、ハトのマークが付いています。

詳細は司書にお声かけください。

まなびお図書室

月曜日～日曜日
9時～21時

【まなびお図書室の装飾】

まなびお図書室では、季節の装飾を早来学園の児童生徒とともに行っています。

本だけではない楽しみもある「まなびお図書室」にぜひ一度、足をお運びください。





心に残る、一冊

安平町の司書が選ぶ７冊

本を読んでいると、ふと心に残る一冊に出会うことがあります。
子どもの頃に読んだ本。
何度も読み返している本。
つらいときに支えてくれた本。

今回は、図書室で「本」と「人」とをつなぐ、７人の司書さんに
「心に残る、一冊」をお伺いしました。

きっと、あなたの心にも響く本が、あるはずです。

司書の心に残る、７冊をご紹介します。

岩井　昌子　司書　まなびお図書室



『赤毛のアン』

モンゴメリ　　村岡 花子 訳

アンがさまざまな経験を通し、人として成長する物語。

出会いは中学生の頃ですが、アンが成長していく姿を自分の年齢や暮らしに重ね、何度も読み返しています。

この本を読むと「失敗しても大丈夫」と思えるし、いつでも帰る場所があることにも気付かされます。

また、自分の信念を大切にしたくても、思い通りにいかないアンの姿に共感し、悩みながら進んでいくのは自分だけではないのだと感じます。

子育ての悩みや両親との関わり方など、日々の暮らしを振り返るきっかけになって、読む時期によって新たな気付きや勇気をもらえる一冊。ぜひ、幅広い年代の方に読んでほしいです。

木村　由佳　司書　まなびお図書室



『ふたりの読書会』

向井 和美

無期受刑者から届いた１通の手紙をきっかけに、文通を通して本について語り合う「ふたりの読書会」のお話です。

この本を通して「本はどんな人に対しても平等である」ということを、まっすぐに受け止めることができました。

私が司書になったのは、人生で一番つらいときに、本に助けられたからです。ただ、これまで何度も本に助けられてきたにも関わらず、本に対しての思いを言葉にできていませんでした。この本を通してその思いを言語化できたことで、本を扱う仕事をしている自分自身も救われた気がしています。

本との「出逢い」を通して、一人でも多くの人が救われること。それが司書としての私の願いです。

谷　彩　司書　まなびお図書室



『シーラという子』

トリイ・L・ヘイデン　　入江 真佐子 訳

６歳で傷害事件を起こし、トリイが受け持つ教室にやってきた少女シーラ。虐待などによって心身に深い傷を負った少女が、１人の教師との出会いを通して、少しずつ心を開いていく姿を描いたノンフィクション作品です。

高校生の頃、図書委員をしていたときに出会った作品で、一気に読破したことを覚えています。また、虐待を受けた子どもの心やその背景にある問題に関心を持つようになり、福祉を専門的に学びたいと思ったきっかけの本でもあります。

一度読んだだけなのに、ずっと心に残る一冊。

子どもに関わる仕事に就きたいと考えている方はもちろん、子育てをしている方にも、ぜひ読んでほしい一冊です。

山崎　沙紀　司書　まなびお図書室



『教養としてのコーヒー』

井崎 英典

第15代　ワールド・バリスタ・チャンピオンが綴る、コーヒーを知ることで世界の歴史や情勢が見えてくる一冊です。

コーヒー好きの私が、書棚に並べる準備をしているときに表紙に惹かれ、気になったのが出会いのきっかけでした。

興味深かったのは、コーヒーの楽しみ方に表れる文化の違い。欧米ではエスプレッソが親しまれている一方、日本ではドリップコーヒーが広く飲まれています。華道や茶道のように、あえて手間をかけて一杯の美味しさを追求する。そんな、過程を大切にする日本人の考え方に共感しました。

コーヒー好きの方はもちろん、日々を忙しく過ごしている方にもおすすめの一冊です。

心に残る、一冊

それぞれの「想い」と
それぞれの「一冊」。



大西 禎子 司書　追分公民館図書室



『モモ』

ミヒャエル・エンデ 作　　大島 かおり 訳

昭和51年に初版が刊行されたロングセラー。

私が学生時代、児童文学を勉強していた頃「好きな本を一冊持ってくる」という宿題をきっかけに出会いました。当時ベストセラーで、話題になっていたのを覚えています。

人々が「灰色の男たち」に時間を奪われる中、人の話をじっくりと聞くモモが、人々の時間を取り戻していく物語で「コスパ」や「タイパ」の対極にあるようなお話です。

映画を早送りで見て、リニアモーターカーで旅をして、そうして節約した時間は、一体どこへ行ってしまうのか。今こそ、たくさんの人に読んでもらいたいと思っています。

河野 真由美 司書　追分公民館図書室



『長い冬』

ローラ・インガルス・ワイルダー 作　谷口 由美子 訳

アメリカ開拓時代の小さなまちを舞台に、長く厳しい冬に立ち向かう一家を描いた物語。大自然の中で食料や燃料が不足する中、家族やまちの人たちが力を合わせて、その冬を乗り越えていきます。

この本は「乗り越える力」を感じさせてくれて、苦しいときやその時期が終わったあとに読みたくなる一冊。年に１回は読んでいます。

人は生きていく中で、その時々に出会う本があると思います。本との出会いも、人との出会いと同じで、巡り合わせなのかもしれません。

そのときは何気なく出会った一冊が、じわじわと、一生、自分の側に残っていくこともある。

私にとって、それが「長い冬」です。

澤田 彩乃 司書　まなびお図書室



『天国での暮らしはどうですか』

中山 有香里

お世話になっていた先輩を亡くし、気持ちが沈んでいたとき、たまたま目に入ったのがこの本でした。題名にも惹かれ、手に取ったのを覚えています。

亡くなった人や動物たちの物語を通して、大切な存在との別れや、残された人たちとのつながりを感じさせてくれるオムニバス形式のお話は、漫画のように描かれているので、お子さんでも読みやすい一冊です。

この本を読んで「亡くなった先輩も、向こうの世界からこちらを見てくれているのかもしれない」と思えるようになりました。悲しみがなくなったわけではありませんが、そう考えることで気持ちに区切りをつけ、前を向くことができました。

読んでいなければ「寂しい」「会いたい」という気持ちだけで終わっていたと思います。

Ｊアラート全国一斉情報伝達試験を実施します

11月11日㈫11時、全国瞬時警報システム（Ｊアラート）を用いた情報伝達試験が行われます。この試験は、全国一斉に行われ、防災行政無線から「これは、Ｊアラートのテストです」とのメッセージが３回放送されます。

また、あびらチャンネルのデータ放送やホームページも緊急画面に切り替わります。実際の災害などとお間違えないよう注意してください。

問合せ　総務課総務グループ　☎㉒2511

11 月は児童虐待防止推進月間です

令和８年度　啓発標語

「１８９（いちはやく）　気づいたあなたが　できること」

児童虐待の対策には、幅広く地域の皆さんの理解を得ることが必要です。そのため、厚生労働省では11月を「児童虐待防止推進月間」と定めています。

児童虐待は、子どもの心身の発達や人格の形成に重大な影響を与えてしまいます。子どもを虐待してしまったとき、虐待を受けたと思われる子どもを発見したときは、児童相談所全国共通３桁ダイヤル（☎189）までご連絡ください。

また、町では子育てに関して気軽に相談できる窓口として「安平町こども家庭センター」を健康福祉課内に設置しています。

悩んでいるとき、困っているとき、誰かに話を聞いてほしいときなど、一人で悩まず、気軽にご相談ください。保健師、保育士、社会福祉士など専門の相談員が対応します。



問合せ　安平町こども家庭センター（健康福祉課福祉グループ、健康推進グループ）　☎㉙7071

広告欄

あなたの悩みに
コタエを出します
面談 電話 完全無料
相談予約ダイヤル 0144-35-8373
平日 10:00～16:00(12:00～13:00を除く)
土曜 10:00～13:00
気軽に電話で相談
ハロー弁護士相談 月～金曜日10:00～16:00(祝日・年末年始は除く)
☎011-281-8686 1回15分相談無料
※掲載の時間や相談方法等は予告なく変更する場合がございます。
札幌弁護士会 苫小牧法律相談センター

ふるさと納税（９月実績）

安平町は、たくさんの方に
応援していただいています。

寄付件数　3,598件
金　　額　64,575,000円

広告欄

公文式早来教室　スタッフ募集
【仕事】 教室スタッフとして、採点業務、生徒指導補助など
【給与】 時給 1,140 円～
【時間】 月・木の週２回（祝日休み）　14:00～20:00〔応相談〕
【試用期間】 あり（１か月）　【保険】 労災保険
【応募】 メール、またはお電話にてご連絡の上、履歴書をご持参ください。
※簡単な業務・教科適性テストあり。
〒059-1501 勇払郡安平町早来大町 162-26
Tel:090-2879-1217（指導者：小泉）E-mail:Kumon-hayakita@bizimo.jp
子どもの成長に立ち会えるやりがいのあるお仕事です。地域の子どもたちを共に応援し喜んでくださる方・長期勤務可能な方歓迎します！
こんな教室です！
KUMON

令和８年度　地域ネットワークフォーラムのご案内

援護のネットワークづくりを目的に、地域ネットワークフォーラムを開催します。

身体機能が落ちても、自分らしい生活を自らの力で取り戻す「リエイブルメント」の考え方を学んだり、地域資源マップを用いて、町内にある地域資源を共有することで、今後地域にあったら良いと思う地域資源などを参加者の皆さんと一緒に考えます。ぜひご参加ください。

日　　時　11月25日㈫　13時10分～16時10分（受付開始　12時40分）

場　　所　追分公民館

内　　容　①講演「リエイブルメントの考え方と地域で暮らし続けるために」
講師：藤田医科大学地域包括ケア中核センター
博士（医学）理学療法士　居宅介護支援専門員　都築　晃 氏
②行政説明「今後の介護予防・短期集中予防サービスC型の取り組みについて」
③ワークショップ「安平町の地域資源を見てみよう」
④お知らせ

申込方法　右記二次元バーコードを読み取り、フォームからご応募ください。
電話でもお申し込みいただけます。

申し込みフォームはこちらから

そ の 他　会場までの送迎バスを用意していますので、ご希望の方はお申し込みの際にお知らせください。

主　　催　安平町社会福祉協議会

共　　催　安平町

申込先・問合せ　安平町社会福祉協議会　☎㉒3061（本所）　☎㉕2263（追分支所）

水道料金、下水道使用料の改定に伴う住民説明会を開催します

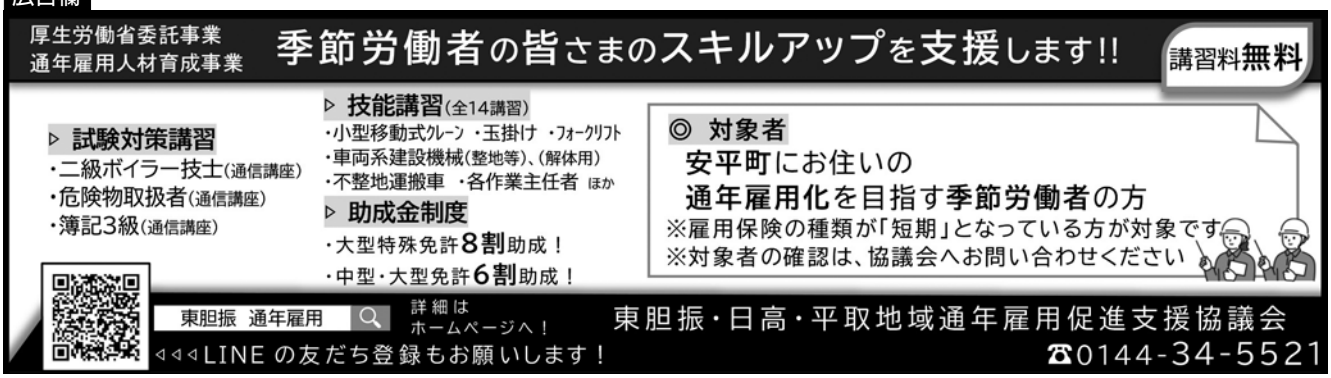
令和８年３月に策定した「安平町水道ビジョン・経営戦略」および「安平町下水道ビジョン・経営戦略」に基づき、令和９年度に予定している水道料金、下水道使用料の改定についての住民説明会を下記日程で開催します。

町内４地区で行いますので、ご都合の良い会場にお越しください。参加申し込みは不要です。

日時・場所　①12月１日㈫　13時30分　遠浅公民館　②12月２日㈬　18時30分　追分公民館
③12月７日㈪　13時30分　安平公民館　④12月８日㈫　18時30分　町民センター

問　合　せ　水道課業務グループ　☎㉒2730

広告欄



広告欄



【仕事内容】　食肉製造作業員（準社員）
みなさんの食卓に美味しいお肉を届けるため、食肉の製造に係る作業を行っていただきます。
◇機械やナイフを使っての牛・豚の処理解体作業
◇枝肉の洗浄、各部位の仕分けや洗浄　　◇枝肉を冷蔵庫内へ運ぶ作業

【勤 務 地】　勇払郡安平町遠浅 695 番地

【応募条件】　学歴・職歴不問

【勤務時間】　平日８：30～17：00（7.5 時間）土曜日８：30～15：00（5.5 時間）　※残業月 20 時間程度

【給　　与】　日給　ナイフ作業従事者　11,000 円～
ナイフなし作業従事者　10,000 円～
＜月例＞226,000 円～284,000 円（月 22 日稼働の場合）
＜年収例＞345 万円～（採用後２年目）※時間外他各種手当・賞与等含む

【休　　日】　日曜・祝日・会社の定めた日（土曜休み年間 24 日）※年間休日 102日（当社カレンダー）

【福利厚生】　各種社会保険完備、制服（作業服）貸与、社員食堂・浴室あり

【応　　募】　お電話の上、写真付き履歴書を持参ください。※応募前の職場見学実施

★正社員登用制度あり　安定した地元企業で働いてみませんか(*^_^*)

お問い合わせは
こちらまで

株式会社　**北海道畜産公社　早来工場**

〒059-1433　勇払郡安平町遠浅 695 番地　**電話 0145-22-3911**

＜担当　総務課　荒谷＞　E-mail：araya@tikusan.co.jp

「令和８年度 成年後見支援センター市民講演会」のご案内

近年、身近に頼れる親族がいない「身寄りのない高齢者」の増加が地域課題となっています。人生の終末期や緊急時への備えは、身寄りの有無に関わらず誰もが考えておきたい大切な課題です。

「まだ大丈夫」と思っている今だからこそ、自分らしい人生を安心して送り続けるために、医療、ケアについて話し合う「ACP（人生会議）」と「大切な権利を守る制度」について学んでみませんか。自分の将来について考え、できることから備えてみましょう。ぜひご参加ください。

日　時　11月26日㈭　14時～16時　　**場　所**　追分公民館　中ホール

内　容　講演①（14時５分～14時55分）　「来るべき予期に備えて　今日から始める人生会議」
講師：苫小牧東病院　地域医療連携室
入退院支援看護師・緩和ケア認定看護師　澤田 真由美 氏

講演②（15時～15時50分）
「自分の意思を守り・実現していくために いろいろあります！権利を守る仕組みと制度」
講師：弁護士法人　小寺・松田法律事務所　弁護士　細谷 祐輔 氏

対　象　東胆振３町（安平町、厚真町、むかわ町）およびその周辺にお住まいの方

参加費　無料

その他　当日は送迎バスを運行します。乗車希望の方は、申込時にお知らせください。

【送迎バス運行表】

行き	13時	遠浅公民館	13時10分	さつき会館
	13時15分	北町会館	13時20分	しののめ交流館
	13時22分	はやきた子ども園	13時25分	北進会館
	13時35分	安平公民館	13時50分	追分公民館
帰り	16時20分	追分公民館（以降は行きと同じ停留所に停車）		

申込先・問合せ　健康福祉課包括支援センターグループ　☎㉙7072

安平・厚真行政事務組合からのお知らせ

■ごみの分別・減量ガイドブック　「蛍光灯」について

「ごみの分別・減量ガイドブック」P17～18、P35、P38に有害ごみとして「蛍光灯・蛍光管」の記載がありますが「蛍光管」に統一します。

※蛍光管周辺の照明器具は、もやせないごみとなります。

■スプレー缶の分別について

かん（缶）の収集日にスプレー缶（有害ごみ）が混入されていることがあります。

収集車や塵芥処理場の火災につながる危険性がありますので、スプレー缶はガイドブックP17～18をご確認いただき、必ず「有害ごみ」として出してください。

■塵芥処理場の営業日について

塵芥処理場へ直接搬入できる日（開場日）は、ごみの収集日と同じ日程となっています。

ごみ収集のある日は塵芥処理場も営業しています。家庭ごみ収集カレンダーをご確認ください。

開場時間　８時30分～17時（12時～12時30分は休止）

ごみ分別のルールを守り、適切な分別にご協力ください。

問合せ　税務住民課生活環境グループ　☎㉒2940　　安平・厚真行政事務組合　☎㉒3151

「やさしいスマホ塾」を開催します



スマートフォン初心者の方を対象に、操作などを基本から丁寧に学ぶことができる「やさしいスマホ塾」を下記のとおり開催します。

講座を受けたあとに、個別に質問ができる相談会の時間もご用意していますので「今さら聞けない」「もっと詳しく知りたい」という方も安心してご参加ください。

申し込みは不要、無料でご参加いただけますので、この機会にぜひスマートフォンの使い方を学んでみませんか。皆さんのご参加をお待ちしています。

※全ての講座に出席する必要はありません。ご希望の日程や講座内容を選んでお越しください。

対　　象　町内在住の方（全年齢）

料　　金　無料

申込方法　申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

場　　所　早来地区：ふれあい交流館みなくる　追分地区：ぬくもりセンター

そ の 他　参加者には、１回の参加につき、ポイントあびら50ポイントを付与します。

【日程、講座内容】

【早来地区】 ふれあい交流館みなくる	**【追分地区】** ぬくもりセンター	**講座内容**
11月18日㈫	11月19日㈭	基本操作
11月25日㈫	11月26日㈭	ホーム画面 アプリについて
12月 2 日㈫	12月 3 日㈭	トラブル予防
12月 9 日㈫	12月10日㈭	LINEの使い方①
12月16日㈫	12月17日㈭	LINEの使い方②
12月23日㈫	12月24日㈭	まとめ

開催時間　講座：10時～10時30分　個別相談会：10時30分～11時30分（全日程共通）

問 合 せ　総務課情報グループ　☎070-9253-8976

ヒグマに注意！「ひぐまっぷ」

令和８年度のヒグマ出没情報を「ひぐまっぷ」で公開しています。
印がない場所が安全とは限りませんのでご注意ください。



令和８年度
「ひぐまっぷ」

「ひぐまっぷ」とは、北海道の山林などにおけるヒグマの出没情報をリアルタイムに収集し、地図上で共有するクラウド型システムです。

問合せ　産業振興課土地改良・林務グループ　☎㉒2515

デジタル行政サービスなどのご案内

町では「安平町デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定し、民間事業者が提供する各種サービス、アプリケーションなどを活用した行政サービスのデジタル化（DX）に取り組んでいます。このページでは、町が提供する各種サービスについてご紹介します。

スマホ役場サービス（LINE公式アカウント）

町では、LINEを活用した「スマホ役場サービス」を提供しています。暮らしに役立つ情報から行政手続きのほか、ごみ分別アプリなどさまざまな機能がありますので、ぜひご登録ください。

▶登録者数2,000人を突破しました！

LINE公式アカウントへの登録者数が2,000人を突破しました。引き続き、暮らしに役立つ情報などを発信していきますので、ぜひ「友だち追加」をお願いします。

安平町 LINE
公式アカウント

▶安平町LINE公式アカウントでできること

ごみ分別アプリ



いろいろな検索方法を使ってごみの分別を検索することができます。

ごみの出し忘れを防止



ごみ収集日をLINEの通知にてお知らせします（通知には設定が必要です）。

町全域「光回線」サービスのお知らせ

令和４年３月15日より、高速ブロードバンドサービス「光回線」のサービスが町全域で申し込み可能となっていますので、改めてお知らせします。

なお、光回線の利用を希望される方は、それぞれご自身で通信事業者にお申し込みください。

問合せ　NTT東日本　☎0120-116-116

受付時間　平日９時～17時（年末年始〔12月29日～１月３日〕を除く）

※光コラボレーション事業者については、携帯電話会社などの販売店や家電量販店にお問い合わせください。

その他デジタル行政サービス

・証明書コンビニ交付サービス

「住民票の写し」「印鑑証明書」の発行がコンビニエンスストアなどで行えます。

・公衆無線（Wi-Fi）サービス

町内公共施設などで公衆無線（Wi-Fi）サービスを無料で利用できます。

・遠隔窓口相談サービス

最寄りの公民館から健康福祉課、税務住民課、消防組合などにビデオ通話で相談できます。

デジタル行政サービス
の詳細はこちら ▶

町の魅力を発信する特設サイト「ABILIKE（アビライク）」を公開しました

町が進めるブランディング推進事業、この事業は住民の皆さんに町のことをもっと知ってもらい、町のことをもっと好きになってもらうことを目指して、さまざまな事業を進めています。

この度、特設サイトを公開しましたのでぜひご覧ください。

安平のLIKEで
ABILIKE

アビライク

道の駅あびらＤ51ステーション
来場者500万人を達成しました



日本遺産の構成文化財である蒸気機関車「D51 320」の展示や町内産の食材を使ったおいしいメニューを提供するなど、鉄道ファンから家族連れまで、幅広い世代に人気を集めている「道の駅あびらD51ステーション」が、９月30日に来場者数500万人を達成しました。平成31年４月19日の開業以来、７年５か月で500万人となり、400万人到達から１年３か月での達成です。当日は500万人達成記念セレモニーを行い、東京都からお越しの500万人目の来場者に特産品の詰め合わせを贈呈しました。

このような節目を迎えることができたのは、日頃から道の駅あびらD51ステーションをご利用いただいている町民の皆様をはじめ、多くの方に支えていただいた結果です。

皆様のご支援とご協力に、心から感謝申し上げます。

問合せ　商工観光課商工観光労働グループ　☎㉙7083

宝くじ助成金で行事用テントを整備しました



追分地区町内会連合会では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により行事用テントを整備しました。

この事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業で、地域のコミュニティ活動の充実、強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に行われています。

今回の整備により、天候を気にせずイベントや行事を開催できる環境が整いました。

これにより、住民の皆様が気軽に参加しやすくなり、顔の見える関係づくりやコミュニティ活動がさらに活発になることが期待されます。

問合せ　政策推進課政策推進グループ　☎㉒2751

新米を寄付していただきました



10月16日に、JAとまこまい広域より新米「たんとうまい（ななつぼし）」75kgをご寄付いただきました。

「たんとうまい」は、安平町を含む胆振東部の肥沃な土地を利用し生産された高品質米で、農薬を使わない温湯種子消毒や粒の大きさにこだわり、低タンパク米になるように生産したお米です。

この新米は、学校給食として、町内の児童、生徒へ届けられます。

自衛隊 安平駐屯地からのお知らせ

■「安平町とともに71年の絆（復興と未来へのハーモニー）」を開催します

下記のとおり、安平駐屯地創立71周年記念演奏会「安平町とともに71年の絆（復興と未来へのハーモニー）」を開催します。

入場は無料ですので、ぜひご来場ください。



昨年の演奏会の様子

日　時　11月29日㈰　13時～14時30分

場　所　追分公民館

演　奏　安平町吹奏楽クラブ、第７音楽隊（東千歳駐屯地）

入場料　無料

問合せ　安平駐屯地広報　外戸口（けとぐち）　☎㉓2231（内線205）

■安平駐屯地ホームページがオープンしました

安平駐屯地からの各種情報をお知らせするホームページをオープンしました。ぜひご覧ください。右記二次元バーコードからもご覧いただけます。

安平駐屯地ホームページ

URL　https://www.mod.go.jp/gsdf/nae/nadep/organization/abira/abira.html

消防署からのお知らせ

「ごみ焼き」は違法です

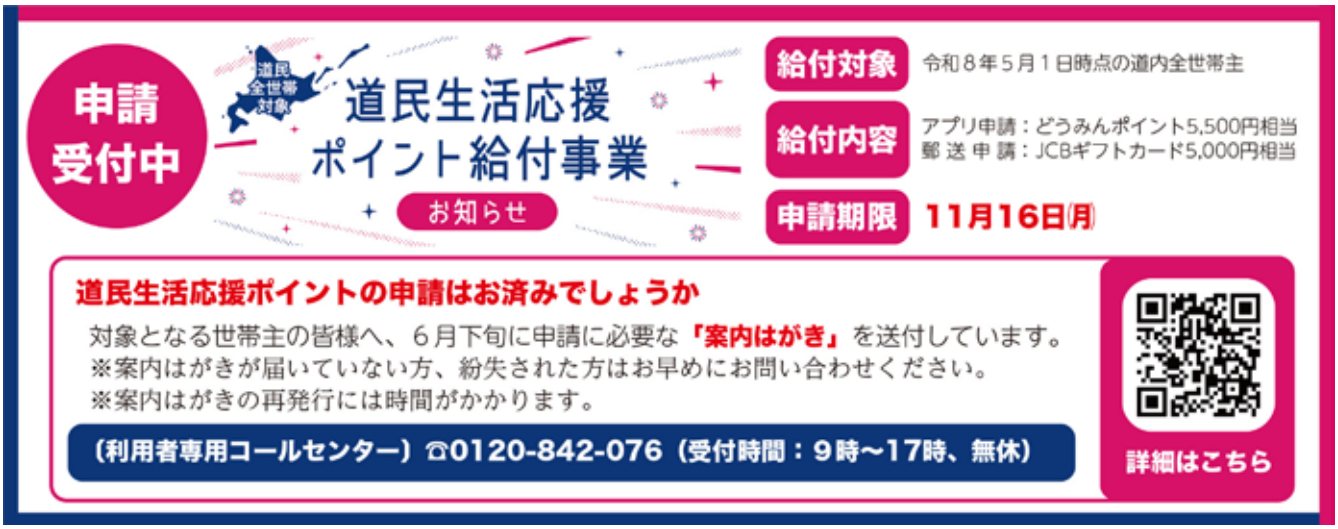
近年、町内で「ごみ焼き」が原因となった火災が頻発しています。

屋外で物を燃やす行為は、火の粉や風にあおられた炎により、周囲の枯草や燃えやすい物に燃え広がることがあり大変危険です。また、家庭などから出たごみを焼却することは法律※で規制されており、違反した者には５年以下の拘禁刑若しくは1,000万円以下の罰金、またはその両方が科されることがあります。屋外で「ごみ焼き」をすることは絶対にやめましょう。

火災を未然に防ぎ、皆さんが安心して暮らせるよう、ご理解とご協力をお願いします。

※廃棄物の処理及び清掃に関する法律第16条の２

問合せ　胆振東部消防組合安平支署　☎㉒2074　追分出張所　☎㉕2119



あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第２次総合計画に基づき、令和８年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれていきます。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和９年度からスタートする「第３次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

住民基本台帳から無作為に抽出した300名に対し参加案内をお送りし、ご応募いただいた皆様とワークショップを４回実施。これまで実施したアンケート調査結果などの情報を踏まえ、次の点をお聞きしました。

①この10年間の安平町はどうだったか、どのように変化したか

②この先の安平町は、何を大切にするまちであってほしいか

今回のおはなし

調査項目①のⅤ生活環境、生活基盤の続き、調査項目②「この先の安平町は、何を大切にするまちであってほしいか」について、参加者の皆様からお話しいただいた概要をお知らせします。

協議内容（調査項目① 続き）

政策分野Ⅴ　生活環境、生活基盤

【地域公共交通】

・JR石勝線、室蘭線の維持問題は学生の通学や住民の足に直結する深刻な課題であり、自治体間の連携や国への働きかけが不可欠。

・デマンドバスなど町独自の施策は、一定効果があると考える。

【消防防災、交通安全、消費生活】

・平成30年北海道胆振東部地震を経験したことから「災害がない」と想定するのではなく、気候変動や地震を前提とした安心、安全の構築が町の特色になるべきだ。

・町内を縦断する唯一の幹線道路である国道234号線は、大型車両の通行が激しく冬季間の対策も不十分であり、国に対して幅員の拡幅や休憩スポットの設置など安全性の向上をより強く求めるべき。

協議内容（調査項目②）

●農業と教育の融合

・一人ひとりの「しあわせ」に注目する考え方に共感する。

・北海道で先駆けて取り組んでいる「オーガニックビレッジ（有機農業）」をさらに推進し、学校給食への活用などを通じて、子どもたちに安平の農業の価値を伝えたい。

・「子育て教育のまち」という認知を維持しつつ、高齢者の声も拾い上げる町であってほしい。

・全国から多様な人々が集まって地元が活性化されていることから、継続してほしい。

●当事者の声と知名度の向上

・数値化しにくい福祉などの分野でこそ、当事者の生の声を丁寧に拾い上げてほしい。

・自身の経験から、町外ではまだ安平町の知名度が低い、あるいは「地震のあった町」という認識で止まっていると感じる。特産品のブランド化などを通じ、知名度をさらに上げてほしい。

●一貫した教育体制の継続

・認定こども園から早来学園（義務教育学校）まで、公立で一貫した教育を受けられる環境は全国的にも稀有な強み。これを継続し、子育て世代を惹きつけ続けたい。

・福祉サービスが真に必要としている人に届いているか、当事者の意向を反映できる仕組み作りを大切にしてほしい。

・安平町の知名度をあげるような事業の工夫が必要。

●伝統と定住のバランス

・教育において新しい手法を取り入れようとするのは良いが、低学年での宿題の徹底など、昔ながらの取り組みや規律も大切にしてほしい。

・子どもたちが町外へ出ていくことで、各種コミュニティの減退が進むことに危機感がある。お年寄りまですべてを大切にし、子どもたちがこの町に住み続けたい、帰ってきたいと思える環境作りが、地域のコミュニティ維持には不可欠である。

●ほどよい田舎の維持

・安平町の「ほどよい田舎」という、ごみごみし過ぎていない、自然豊かな環境に魅力を感じて移住した。人口は増えてほしいが、巨大な商業施設ができるような過度な都会化は望まない。車で少し走れば利便性は確保できるため、この町らしい素朴さと自然を失わないでほしい。

・子どもを通した大人たちのコミュニティも生まれているので、今後の定住につながると考える。

・教育は強みであると思う。追分地区はこの先より活発になっていくと思うので推進してほしい。

●郷土愛を育む教育

・子育てが終わった８年後を見据える必要がある。進学や就職で一度町を出た子どもたちが、いつか「帰ってきたい」と思えるような、心の拠り所としての故郷でありたい。

・どんな子どもでも伸び伸びと育つ、懐の深い教育環境こそが安平町にはふさわしい。

●大人が楽しむ姿を見せる

・役場に「何かをしてもらう」のを待つのではなく、町民自らが積極的に活動に参加してほしい。

・大人が楽しく暮らし、生き生きと活動している姿をロールモデルとして子どもに見せることが、最大の教育環境になる。これからも役場と町民が共に汗を流すイベントや交流を大切にしたい。

●教育ブランドの徹底と高齢者への配慮

・知名度を上げ、人を呼び込むためには「教育、子育て」に特化して突き抜けるべきである。

・誰もがいずれ年齢を重ねる。特化した強みを創る一方で、高齢になっても安心して住み続けられる環境を整えることを決して忘れないでほしい。

今後の予定

「町民まちづくり会議」と庁内で議論を進めているSWOT（スウォット）分析についてご報告する予定です。

【第３次総合計画のページができました】

現在策定中の第３次総合計画に関する情報を町公式ホームページにまとめました。随時更新していきますのでご覧ください。「町民まちづくり会議」の詳細についても掲載しています。

【総合計画に関するご意見】

随時、受け付けています。インターネットからも受け付けていますので、ぜひご活用ください。右記二次元バーコードからもアクセスできます。

インターネット受付先：https://www.harp.lg.jp/kyFPjdtc　FAX送付先：FAX㉒2026

郵送先：〒059-1595　安平町早来大町95番地　安平町役場政策推進課　宛

総合計画に関する問合せ　政策推進課政策推進グループ　☎㉒2751

自衛官等　募集案内

■応募資格

・一般曹候補生	18歳以上33歳未満の方
・２等陸海空士（任期制自衛官）	18歳以上33歳未満の方
・高等工科学校生徒（推薦）	15歳以上17歳未満の方（男子）
・高等工科学校生徒（一般）	15歳以上17歳未満の方（男子）

■受付期間

・一般曹候補生	第３回試験　11月20日㈮（必着）
・２等陸海空士（任期制自衛官）	第５回試験　11月９日㈪～12月２日㈫（必着）
・高等工科学校生徒（推薦）	11月27日㈮（必着）
・高等工科学校生徒（一般）	令和９年１月14日㈬（必着）

■試験日程

・一般曹候補生　11月28日㈯～12月６日㈰のいずれか１日
　筆記試験、適性検査

・２等陸海空士（任期制自衛官）　第５回試験　筆記試験（Web試験）
　12月７日㈪、８日㈫のいずれか１日
　口述試験、身体検査
　12月11日㈮、12日㈯のいずれか１日

・高等工科学校生徒（推薦）　令和９年１月９日㈯～11日㈰･祝 までの間の指定する１日
　学科試験、口述試験、身体検査

・高等工科学校生徒（一般）　第１次試験　令和９年１月23日㈯、24日㈰のいずれか１日
　筆記試験
　第２次試験　令和９年２月11日㈬･祝 ～14日㈰の指定する１日
　口述試験、身体検査

※試験日などは変更になる場合があります。
※その他各種応募資格、受験手続きなどの詳細については、下記までお問い合わせください。

問合せ　自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所　☎0144㉜3725

ポイントあびらからのお知らせ

■11月の毎週木曜日はポイント３倍セール！

この機会にたくさんポイントを貯めて、お得に買い物をしましょう！
※カードの取り違えなどが発生していますので、カードの裏面には氏名をご記載ください。

ポイントあびらの情報は
こちらから発信しています　▶

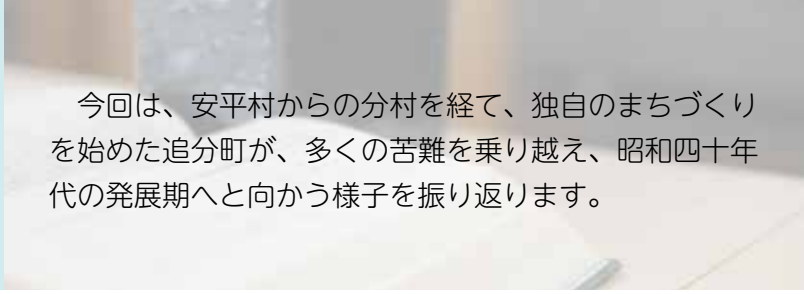
ホームページ　Facebook　Instagram

問合せ　ポイントあびら　早来本所　☎㉒2789（安平町商工会早来本所）
追分支所　☎㉕2154（安平町商工会追分支所）

町史編さん室だより

令和９年度の安平町史発刊にあたり、町史編さん作業の進捗状況などをお知らせします。

問合せ　総務課町史編さん室　☎㉒2511



今回は、安平村からの分村を経て、独自のまちづくりを始めた追分町が、多くの苦難を乗り越え、昭和四十年代の発展期へと向かう様子を振り返ります。

第十一回　初期の追分町のまちづくり

追分町の誕生

昭和二十八年十月一日、追分町が誕生した。

前年の分村後の選挙で初代村長となった尾崎利明は、首長として一期で町制執行を成し遂げ、初代の町長として町を築きはじめた。

昭和三十年の国勢調査では、人口は六六三三人。分村時の六二三五人から町制施行時には六五六六人と、昭和三十四年頃まで順調な人口増加を示していた。

就業者の七割近くが農業と鉄道・運輸関係に従事する者で占めており、住民の高齢化率は四％以下。若い世代が町の発展を支えていた。

農業・畜産業

追分町は、農業振興を重点施策に置いていたが、当時の農業は冷害と凶作に見舞われる厳しい環境下にあり、農業協同組合や農業共済組合も運営資金が乏しく、関係者は窮地に立たされる状態であった。そこで町は損失補償や搾乳牛購入への債務補償を行った他、昭和三十一年から五か年の「追分町農業振興計画」を策定して、農業者を支えていた。

昭和四十五年頃から始まった米の生産調整では、麦やアスパラガスへの転作などが行われると同時に、旭地区を中心にしたメロン栽培の研究も進んでいた。これが現在も市場の好評価を得て農業振興の中心となっている「アサヒメロン」の誕生である。

さらに、町内の旧北炭社有林を買収し、国営農地開発事業による大規模農地造成が行われ、酪農家の入植や既存の農家の規模拡大が行われた。これにより、乳用牛や肉用牛の飼養が増え、軽種馬の飼育も行われるなど、酪農業や畜産業の振興も進んだ。

商工業

町制施行を契機に、商工業の発展も進めようとする気運の高まりで、商工会の再建強化が進められた。

昭和三十年三月の臨時総会で選出された役員によって、駅前の鳥瞰図の建設、大通りへの街路灯の設置、信用金庫の支店誘致などが進められ、年末年始や中元大売り出しの事業も行われた。

昭和三十六年に追分町商工会は法人化され、商工振興体制の強化と発展が進んだ。

交通・通信

追分町は、北海道の石炭輸送を担う「鉄道のまち」として、追分駅に機関庫が設けられるなど、交通の要衝として重要な役割を果たしてきた。一方で、交通運輸は馬車から自動車へと移り変わり、道路や橋りょうの整備が進んでいた。

現在の国道二三四号線（岩見沢ー苫小牧）は明治三十四年に由仁から早来に通じた道路で、延伸後も三川ー追分間の五・一㎞は屈曲していた。直線化を行うため、北海道開発局は昭和三十六年から五か年計画で、安平川に「追分橋」を架設し、国鉄線（鉄路）をまたぐ新国道に跨線橋が整備された。

通信手段を担う追分郵便局は明治二十九年に開局し、当時は広範囲の集配区域を担っていた。

町制施行時は町内の通常郵便、郵便為替、貯金業務だけでなく、電話交換業務や電信業務もあったが、昭和四十七年に無人自動交換局が追分に建設され、翌年には交換業務が廃止された。

行政・財政

町制施行直後は、役場の増築や公営住宅建設、学校の増改築、道路整備、農業の基盤整備などの事業が重なり、昭和三十一年度の一般会計は赤字決算となった。

町は赤字解消のため、昭和三十二年度から四年間の財政自主再建計画を策定。議会の同意を得て財政の健全化に取り組み、一年早く赤字財政は解消された。

財政が安定してきた昭和三十年代末期には火葬場、墓地の整備、塵芥焼却炉などの工事が行われ、消防施設の整備や消防自動車の購入などが行われた。

昭和四十年代には、計画的にインフラ整備が行われ、農業経営の基盤安定策や道路整備、教育環境の整備（学校施設の建設、スクールバス運行）、さらには簡易水道事業の完成や住宅団地の造成なども行われ、安定した財政運営の中で住み良いまちづくりが進んだ。

教育・文化

町内の学校は、昭和二十二年の学制改革で、国民学校から小学校となった追分、本安平小学校の二校と追分中学校があった。

追分中学校は昭和四十三年十月に校舎全焼の災害があり、その間は小学校での授業が行われたが翌年十一月に新築落成している。

昭和二十六年度、住民の悲願で、定時制の追分高等学校が設置され、昭和二十八年度に通常課程が認可。追分高等学校ＰＴＡの請願など三年余りの活動が実を結び、昭和三十三年度に北海道立追分高等学校となる。昭和三十八年には普通科は三間口、家政科一間口の高校へと拡大され、現在も多くの卒業生を輩出している。

広報あびら　追分高校通信

「恒例行事」と「新たな取り組み」



学校説明会

学校説明会では、各教科の体験授業が行われたほか、昨年卒業し、社会人として働く元生徒会長からも話がありました。
参加した中学生には、実際の授業を通して追分高校での学びに触れてもらい、生徒一人ひとりに寄り添う先生たちの存在や自然に恵まれた環境など、追分高校の魅力を体感してもらいました。
この学び舎で一緒に過ごせるのを、楽しみにしています。

ブランディング事業「ABILIKE」

町のブランディング事業に、3年生が協力しました。
スタッフTシャツのデザインでは、事業のイメージや地域の魅力を高校生なりの視点で表現。
イベント「丘の青空レストラン」で提供するスイーツのアイデア出しでは「どんな人に、どんなことを感じてもらいたいか」を考えながら取り組みました。

実際の事業を題材に、地域の取り組みについて考え、高校生らしいアイデアを形にする機会となりました。

地域講師招聘講座

２・３年生の「総合的な探究の時間」では、町内で働く方々を講師に招き、仕事やこれまでの人生についてお聞きしました。
「現在の仕事内容」や「今の仕事に就くまでの経緯」など、それぞれの経験を交えたお話からは、講師の皆さんの人生観や仕事への向き合い方が伝わり、大人にとっても新たな発見や学びのある時間となりました。
講師の皆様、貴重なお話をありがとうございました。





鹿公園で縄文土器づくり

探究活動の一環として「安平町の土で縄文土器をつくることはできるのか」を実践するため、本番に向けた土器の試し焼きに挑戦しました。
火おこしをした火でマシュマロやソーセージも焼き、縄文時代の暮らしに思いを巡らせながら、土器づくりの可能性を探りました。



町民と追分高校のコミュニケーションコーナー
追分高校へのメッセージを募集します！

・追分高校の卒業生で、当時の思い出を語りたい！
・追分高校生へのメッセージ！
・授業や就職活動などで追分高校生と関わって感じたこと！
・追分高校の施設、設備を使ってこんなことをしてみたい！
・追分高校生と、こんなコラボレーションをしてみたい！
・追分高校への応援メッセージ！

など、どんなことでも結構です。
右記二次元バーコードを読み取りメッセージを送信してください。
皆様からのメッセージ、お待ちしています。

メッセージ送信は
こちらから

※いただいたメッセージは、本ページ内でご紹介させていただく場合があります。

情報発信

Instagram

追分高校の情報を
チェック！

追分高校
ホームページ

note

あびらで健やか安心生活

abiLife

問合せ　健康福祉課健康推進グループ　☎㉙7071



ご存じですか　「睡眠不足、欠食による健康への影響」

「食事バランスに気を配り、運動もしているのになかなか減量しない」「体がなんとなくスッキリしない」という経験はありませんか。その症状は、睡眠不足や欠食が影響している可能性があります。

■睡眠の機能は「休養」「適応能力の向上」

【睡眠不足による健康への影響】



・食欲を抑制するホルモンが減少、促進するホルモンが増加して過食になる。
・血糖値を下げるインスリンの効きを悪くし、血糖が高い状態が続くようになる。
・交感神経が刺激されて血圧が上昇、心臓病や脳卒中などのリスクが高まる。
・免疫力が低下し、風邪などの感染症にかかりやすくなる。
・認知機能の低下により、集中力や判断力が低下する。
・身体が修復、回復する時間が足りなくなり、疲労やストレスが蓄積する。

【改善方法】

・平日、休日に関わらず、同じ時間帯で生活し、規則正しい睡眠スケジュールを確立しましょう。
・就寝１時間～２時間前から電子機器の使用を控え、ブルーライトの影響を軽減しましょう。
・温度は「暑すぎず、寒すぎず」、できるだけ暗く、静かな場所で睡眠を取りましょう。
・カフェインとアルコールの摂取を制限し、寝付きや睡眠の質を改善しましょう。
・日中に適度な運動を行うことで、睡眠の質を向上させましょう。

■食事の機能は「栄養、生命維持」と「嗜好（美味しさ）」「生体調節、健康維持」

【欠食による健康への影響】



・食事の間隔が空きすぎると、強い飢餓状態になり、次の食事で血糖値が急上昇する。
・空腹時間が長いと、身体がエネルギーを溜め込もうと脂肪の合成、蓄積が活発になる。また「省エネ体質」になり代謝が落ちる。
・空腹のストレスが交感神経を刺激して、血圧が上がりやすくなる。
・朝食を抜くと内臓リズムが整わず、代謝や自律神経のバランスが崩れる。

【改善方法】

・食事は３食を規則正しく摂取しましょう。
・空腹時間が長くなる時、果物やおにぎりなどの簡単な食事で「省エネ体質」を予防しましょう。
・朝食の習慣がない場合、朝の起床時間を少し早くして、何かを口にする習慣をつけましょう。

※コップ１杯の水とバナナから始めて、慣れてきたらヨーグルトやゆで卵など、タンパク質を意識してみてください。スモールステップから始めてみましょう。

食事や睡眠に関してお悩みがある方は、下記まで気軽にお問い合わせください。出来るところから少しずつ改善に取り組み、健康な体を守りましょう。

問合せ　健康福祉課健康推進グループ　☎㉙7071

あびスポッチャー

安平町のスポーツ×カルチャー

町では、国の方針に基づき、部活動を学校から地域に展開することで、子どもから大人までがスポーツや文化を楽しめる環境づくりに取り組んでおり、令和７年度で部活動の地域展開は完了しました。

今回はアビースポーツクラブに所属している団体をご紹介します。

■ 早来アクティブ



町内だけではなく、千歳市などからも小学生、中学生が集まって練習に励む早来アクティブ。取材中も子どもたちの元気な掛け声が体育館に響き、活気あふれる練習風景が見られました。

今年で設立41年目を迎えたクラブをメインコーチとして引っ張るのは、福田 紳太朗さんと小畑 治子さんのお２人で、保護者の協力を得ながら指導に当たっています。

紳太朗さんは指導を始めて今年で５年目。息子さんたちの活動のお手伝いが、指導を始めたきっかけだったそうです。

最近は試合で勝つ機会も増え、チームの状況に合わせて指導を工夫しながら、中学生チームを全国大会へ導きました。

チームが掲げるテーマは「応援されるチームであること」。コーチ、中学生メンバーがこのテーマを共有し、練習や試合に取り組んでいます。また「全てにおいて全力でやり切る、全力で今を楽しむ！という『モットー』も、コーチ一同が共有している大切な指導方針です」と、紳太朗さんは話します。





■ キャプテン　追分中学校３年生　福田 克太朗さん

「人と話すのが苦手で、挨拶も自分からできるタイプではありませんでしたが、バレーボールを始めてから、挨拶や周りの人への感謝の大切さを学んでいます。また、練習試合でいろいろな人と出会い、コミュニケーションを取るうちに初対面の人とも話せるようになりました」と話すのはキャプテンの克太朗さん。先に早来アクティブで活動をしていた弟さんから「バレーが楽しい」と聞いたことが、クラブに入ったきっかけだそうです。

「11月に札幌で行われる大会が３年生にとって最後の大会になるので、チームとして優勝を目標に頑張っていきたいです」と意気込みを語り、入部を迷っている子へのメッセージをお願いすると「とにかく体を動かしたい人、動き足りない人にはバレーがおすすめ。ぜひ来てください！あと、チームのみんなは優しいよ！」と呼びかけてくれました。

「早来アクティブ」Instagram

このような取り組みを通じて、スポーツ・文化活動を推進しています。持続可能なスポーツ・文化環境をつくるため、日々挑戦を続けていますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いします。

詳しくはこちらへ

公式HP

公式LINE

問合せ：安平町教育委員会事務局　社会教育グループ
☎ ㉙ 7036

受託者：NPO法人アビースポーツクラブ

道の駅あびら D51 ステーション
11月の情報

※11月24日㈫は臨時休館となります。トイレは24時間開放。

■イベント情報

11月7日㈯～8日㈰　鉄道模型フェス2026



１周約35mもあるNゲージのレールの上を、新型特急や新幹線、懐かしの名車など、人気車両が駆け抜けます。また、お宝市場や鉄道紙芝居、粘土クラフトなど鉄道の関連イベントも実施！鉄道が好きな方はもちろん、お子さんから大人まで楽しめます。ぜひお越しください。

11月15日㈰　恐竜フェア2026



カムイサウルス・ジャポニクス（むかわ竜）の大腿骨レプリカなどの特別展示をはじめ、お子さんに大人気の体験企画を開催。もちろん、オリジナルの恐竜グッズの販売も！お子様と一緒に楽しめるイベントです。

<u>ちびっこに大人気の体験企画</u>

・化石クリーニング体験（1,000円／回）　新しい化石が発掘されるかも。
・ペーパークラフト体験（1,000円／回）　カムイサウルスとモササウルスの２種をご用意。
・化石ぬりえ体験（500円／回）　化石を型取りした白い石膏に自由に色塗りをして自分だけの化石を作ろう！

■各コーナーからのお知らせ

コーナー	商品のご紹介、お知らせ（価格は税込）
ベーカリー	**・かぼちゃパン　250円** キャラメル風味の生地の中に北海道産えびすかぼちゃパウダー入りクリームが入ったパンです。
テイクアウト	**・ケンボロー豚角煮丼　1,250円** 安平町産ケンボロー豚のバラ肉を柔らかく煮込み甘辛く味付けました。ごはんとの相性が抜群です！
特産品販売	**・生おからと米粉のパン　600円　・生おからマフィン　460円** 北海道産のおからを使用した腹持ちばっちりの一品。おいしく食べて腸活しませんか。
農産物直売所ベジステ	新豆が徐々に出始めます。新米と一緒に豆ご飯はいかがですか。 ※ベジステは11月10日㈫より本館での営業となります。

■屋内外出店情報

テナント情報			
屋内	坂爪商店	11月28日㈯～29日㈰	海産物・珍味の販売
屋外	室蘭やきとり　とん串	11月21日㈯	本格室蘭やきとりの販売
	simple Life with Rice	11月22日㈰～23日㈪㈷	その場で握るおにぎりの販売

■鉄道資料館情報

【特別開館日】11月1日㈰～23日㈪㈷
なお、12月～3月は㈯㈰㈷のみの開館となります。ご了承ください（平日は閉館）。

【安平町公式】情報媒体のお知らせ

あびらチャンネル
ABIRA CHANNEL @ ABIRA

「あびらチャンネル」はインターネットからも閲覧できます。
ご利用希望の方は下記までお問い合わせください。
※ご利用は町民の方に限ります。



11chにて
「6時～24時」
毎日放送中

公式 Instagram

町公式 Instagram では、以下の投稿を行っています。
・「あびらチャンネル」と連動した放送番組などのお知らせ発信
・町内でご活躍される方のご紹介
・おすすめスポットのご紹介
・イベント情報の発信
・町内風景写真の投稿

フォローはこちらから▶



COTOCOTO_ABIRA

問合せ　総務課情報グループ　☎㉒2511

ご協力のお願い

あびらチャンネル
視聴アンケート実施中！



・皆さんの声を、今後のあびらチャンネルに反映します。
・アンケートは５分程度で完了します。
・11月30日㈰まで期間を延長して実施中です。

回答は
こちらから

問合せ　総務課情報グループ ☎ ㉒2511

【苫小牧医師会】日曜・祝日当番病院（市外局番 0144）

月　日		外　科		内　科	
		病　院　名	電　話	病　院　名	電　話
11月	8日㈰	同樹会苫小牧病院	㊱1221	苫小牧市夜間・休日急病センター	㉜0099
	15日㈰	苫小牧日翔病院	㉒7000		
	22日㈰	光洋いきいきクリニック	㉑2700		
	23日㈪	こうよう泌尿器科クリニック	㉜8620		
	29日㈰	ケーアンドエークリニック	㉑2000		

右記二次元バーコードから町ホームページの
「苫小牧歯科医師会の休日当番医」を確認することができます。

戸籍の窓口から

戸籍の窓口で掲載の確認ができた方を掲載しています。

お誕生おめでとうございます

櫻田　想乃ちゃん（女）【親・崚汰 / 香奈】9/19 早来北進

ご結婚おめでとうございます

中條　聖斗さん
浦野　亜美さん
早来大町

お悔やみ申し上げます

佐藤　文夫さん	(72)	安平	8/21頃
中田　良吉さん	(94)	追分美園	9/9
菊地　一子さん	(81)	安平	9/12
似鳥　弘三さん	(88)	追分本町	9/12
板垣　光彦さん	(73)	追分本町	9/12
村上　英司さん	(94)	追分本町	9/14
南　孝二さん	(76)	安平	9/18
小西　信也さん	(89)	追分本町	9/19
友廣　薫さん	(76)	追分本町	9/24
安井　正三さん	(86)	追分旭	9/25
永井　秀子さん	(93)	追分若草	9/26
土田　奈津子さん	(92)	早来源武	9/26
岡部　定義さん	(88)	追分若草	9/26
飯田　トシ子さん	(87)	追分本町	9/28
志賀　弘さん	(80)	早来栄町	9/29

安平町の人口、世帯数
（令和８年10月30日現在）

総人口	7,182 人	（−46）
男　性	3,620 人	（−32）
女　性	3,562 人	（−14）
世帯数	4,058世帯	（−33）

※交通事故死ゼロ運動の日数は、交通安全だよりをご確認ください。



営業時間
11時～22時

問合せ
☎㉕2968

休館日
11月10日
11月24日
12月 8 日
（毎月第２・４火曜日）

※各イベントの詳細は町ホームページ「ぬくもりセンターからのお知らせ」をご覧ください。

【キッズデー】11月８日㈰「ガラポン抽選会」「お菓子釣りゲーム」

子ども商品券やスタンプカードの景品が当たる抽選会を開催！スタンプラリーカード３ポイントにつき１回抽選でき（当日参加３ポイント）、お菓子釣りにも参加できます。当日入浴または回数券を購入された小学生以下のお子さんが対象です。

【カラダ測定会】11月18日㈬　13時30分～16時　ぬくもりセンター

体組成測定のほか、14時から作業療法士による診断を受けられます（作業療法士の診断を希望される方は、15時30分までに受け付けをお願いします）。

参加特典：入浴料100円引き（小人50円引き）、スタンプ２倍、ポイントあびら50ポイント

【安平町合併20周年記念企画】

●11月1日㈯～「特典付き回数券販売（大人12回券）」購入特典
オリジナルトートバッグまたはBOXティッシュのどちらか１つ（各100個限定、特典がなくなり次第終了）。

●11月21日㈯～27日㈮　「檜のお風呂」
「安平町のイチ推し」が書かれた檜の板を、お風呂に浮かべます。

●11月22日㈰　「合併20周年記念抽選会」
入浴される小学生以上の方は、町の特産品が当たる抽選会に参加できます。

●11月26日㈭　「記念タオルの配布」
入浴される小学生以上の方にオリジナルタオルを配布（300枚限定）。

●「ハッピーバスデー」町民特典を拡大
今年度に限り、町民の方は誕生月の入浴が３回無料です。

うちの子自慢！

私も家族の一員です

ご応募はこちらから！
☎㉒2511
（総務課情報グループ）



猫との暮らしが夢だったという旦那様。ご友人が職場で見つけたえむちゃんに一目惚れし、念願の猫との暮らしが始まりました。

奥様は犬派だったそうですが、今ではすっかり猫のとりこに。さらには奥様の実家までもが猫の可愛さに魅了され、新たに猫を家族に迎えたそうです。

そんな人を魅了するえむちゃんの名前は、おでこにある綺麗な「M」のマークに由来します。

ご夫婦の行く先々についてくる甘えん坊で、2人の行動をじーっと見つめる姿は、まるで監視カメラ。

ただし、えむちゃんは極度の人見知りなので、いざカメラを向けると、階段を飛ぶように駆け抜けて2階へ消えてしまう、なかなか手ごわい相手でした。

その幻の姿を写真に収めるため、ご夫婦にも体を張って階段を塞ぐなどの協力を仰いだ、撮影者渾身の1枚をお楽しみください…。

遠浅　藤谷さん宅　　えむ　ちゃん

キジトラ　　メス・6歳

編集者コラム



総務課情報グループ
中崎　凌

「心に残る、一冊」

今回の特集では、町内の図書室で、司書として勤務される7名の皆さんに焦点を当て、それぞれの「心に残る、一冊」をご紹介しました。

「本のプロフェッショナルである皆さんの心に残っている本は、一体どんな本なのだろう」という疑問から記事を作り始めましたが、話を聞けば聞くほど、興味深い本ばかりでした。皆さんもぜひ、図書室で読んでみてください。

私の最近出会った作品で、印象深いものは、ヤマシタトモコ先生の「違国日記」です。

作中に出てくる言葉の表現がとても綺麗で、日本語の美しさを改めて感じました。

役場の中では、活字に触れる機会が特に多い広報という業務。

引き続き、美しく読みやすい日本語を意識しながら、魅力ある広報紙をお届けしたいと思います。

発行　安平町　企画編集／総務課情報グループ　☎0145㉒2511
〒059-1595　勇払郡安平町早来大町95番地